

# 第40回全国ボランティアリズム推進団体会議 (通称:民ボラ) in 山梨

テーマ: **大丈夫か日本!?** ~平和と公共を築く市民活動~

ボランティアリズムを押し進める上でのいろいろな課題を協議するなかで、ボランティア活動推進団体や NPO 支援センターのミッション・運営のあり方を考える場として開催します。理事、監事、ボランティア、事務局員など、民間非営利団体の組織運営にかかわるすべてのみなさまにご注目いただきたいプログラムです。ふるってご参加ください。

日時: 2023年7月22日(土) 13時30分~7月23日(日) 12時45分  
(受付・接続開始: 13時00分~)

会場: やまなし地域づくり交流センター および オンライン (Zoom)  
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2丁目35-1 (TEL:055-224-2941)  
甲府駅南口から徒歩15分 (JR 中央本線・身延線)  
※新型コロナウイルス感染拡大状況によりオンラインのみの開催に変更となる場合があります。

主催: ボランティアリズム推進団体会議

(世話団体) 茨城NPOセンター・commons / 大阪ボランティア協会  
静岡県ボランティア協会 / JUON NETWORK (樹恩ネットワーク)  
市民活動センター神戸 / 世田谷ボランティア協会  
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ / 東京ボランティア・市民活動センター  
東京メディエーションセンター / とちぎボランティアネットワーク  
富士福祉事業団 / ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし  
山梨県ボランティア協会 (五十音順)

対象: 全国のボランティア・市民活動推進団体の役職員・スタッフ、関心のある方

※ボランティア・市民活動センター、NPO 支援センター、社協、自治体職員、NPO、ボランティアグループ、一般市民など、どなたでもご参加いただけます。

定員: 100名

参加費: 4,000円 (1日のみの参加も同じ)

※参加申込者は期間限定で公開可能な全体会とセッションのアーカイブ視聴ができます。

方法: ① 次の入力フォームからお申し込みください。【QRコードは⇒】

<https://forms.gle/Y5tQh5UKwb64b6Y97>



② 申込締切日は、7月8日(土)です。定員に達した場合締め切ります。

③ 参加費用は、7月15日(土)までに銀行振込、又は当日受付にてお支払いください。

振込手数料は、ご負担ください。オンライン参加の方は、必ず事前に振込をお願いします。  
振込銀行口座 特定非営利活動法人山梨県ボランティア協会 普通預金 2141158

④ 参加費の納入が確認できましたら、開催3日前までにオンライン (Zoom) の URL や注意事項をメールでお送りします。

## 宿泊施設のご案内

民ボラ会議会場より徒歩10分の場所に「宿泊施設」を確保しました。  
30人分を仮予約しております。先着順となりますがご利用ください。  
なお、お申込み・料金のお支払いは、直接ご対応をお願いします。

【センティア・ホテル内藤】 担当 波木井さん

〒400-0858 山梨県甲府市相生2-3-16

TEL 055-233-3011 FAX 055-33-3099

一泊朝食付き お一人様 8,000円(税込) シングル 禁煙

お車の方、別途600円が必要となります。

## 日 程

	13:00	13:30	13:45	15:15	15:30	17:30	18:00	19:00
7月22日 (土)	受付	開 会	オープニング 全体会		テーマ別 セッション①②			交流会 (会場)
	9:15		11:15 11:30		12:30 12:45			
7月23日 (日)		テーマ別 セッション③④	クロージング 全体会	閉会	終了			

### 1日目：7月22日(土)

13:30~13:45

開会・趣旨説明:民ボラが目指すこと、今回の組み立ての趣旨

成果と効率ばかりが問われる中で、公共サービスを企業が提供する場面が増えました。行政から企業に主体が移行するなかで、市民はサービスの顧客となる「お客様化」社会が進む状況です。これは、市民が主体的に地域のあり方を考えるという意味での民主主義が揺らぎだしているとも言えます。これに対して「コモン」(共有財)をキーワードに、公共サービスを市民の手に取り戻す運動(ミュニシパリズム=地域主権主義)が広がってきています。

一方、軍事費が激増し「有事」が現実化しかねない状況が進んでいます。平和を目的に掲げて戦争が起こされる中、「戦争の反対は平和ではない。対話である」として、国境を越えた市民の対話によって平和を築こうという「対話プロジェクト」も始まっています。

多様な場面で、市民が主体となる取り組みが広がるなか、今回の「民ボラ」では、これからの市民活動推進のあり方を考える集いとしたいと考えています。

13:45～15:15

## オープニング全体会

### 「対話」と「自治」を進めるために

谷山博史さんは、代表理事も務めた日本国際ボランティアセンターで、アフガニスタンなど戦地での駐在を経て、当事者による「対話」の重要性を実感。平和を理由に戦争が始まる現実をふまえ、「戦争の反対は平和ではない。対話だ」として、現在、「台湾有事」を起こさせない沖縄対話プロジェクトを精力的に進めておられます。

一方、内田聖子さんは、新自由主義がもたらす不公正な社会を批判し、TPPのウォッチと調査、政府や国際機関への提言などに取り組んでこられました。また今年の杉並区長選挙では、市民の自治的なまちづくりを進めるため、市民参加の選挙運動の選対本部長として奮闘され、市民派候補の当選を勝ち取られました。

両氏を迎え、「対話と自治」をテーマに、市民が主体となって平和で公正な社会づくりを進めるために、私たちが目指すべき方向性と市民主体の活動の進め方について考えます。

#### 登壇者

谷山 博史 さん「台湾有事」を起こさせない沖縄対話プロジェクト 呼掛人・実行委員  
内田 聖子 さん（特非）アジア太平洋資料センター（PARC） 共同代表

#### 司 会

早瀬 昇 さん（福）大阪ボランティア協会 理事長

15:30～17:30

## テーマ別セッション①②

### セッション① 平和構築

#### 戦争を起こさせないために市民団体と支援機関は何ができるのか？

#### ～軍事力増強ではない市民の「解」は～

平和構築には、軍事力強化ではなく、非戦のための対話や非人道兵器廃絶などの取り組みが重要です。しかし、予算ベースでは世界第3位にもなるという軍事大国化を進める政府の方針が漫然と支持される一方、対話や非人道兵器廃絶などの活動への関心はなかなか高まりません。この問題への市民の関心をどう高め、当事者意識にもとづいた活動をどう広げるのか？戦争を起こさせないための市民活動と活動支援機関のあり方を話し合います。

#### シンポジスト

谷山 博史 さん「台湾有事」を起こさせない沖縄対話プロジェクト 呼掛人・実行委員  
目加田 説子さん（特非）地雷廃絶日本キャンペーン 副代表理事

#### コメント

矢野 正広 さん（認定特非）とちぎボランティアネットワーク 理事長  
実吉 威 さん（特非）市民活動センター神戸 事務局長

#### ファシリテーター

早瀬 昇 さん（福）大阪ボランティア協会 理事長

## セッション② 市民と選挙

### 市民主体の地方自治～市民による選挙はどう進められたのか？～

ボランティアや NPO は、よりよい地域や社会をつくるために日々活動していますが、課題解決のためには、政策提言しながら議会や行政とつながることも重要でしょう。全国各地では政策をもって市民が擁立した首長や議員も活躍しています。

昨年の杉並区長選挙では、市民が擁立した候補者が現職に対して 187 票差で当選しました。また 4 月の杉並区議会議員選挙では、女性の議員が過半数となりました。選挙への関心が高まり、投票率もアップしています。

そこで、このセッションでは、昨年の杉並区長選の進め方を事例に、市民がどのように政策をつくったり議会と関わったりするのかを考えます。

#### 事例提供者

内田 聖子 さん（特非）アジア太平洋資料センター（PARC） 共同代表  
杉並区長選挙に関わった市民

#### コーディネーター

鹿住 貴之 さん（認定特非）JUON NETWORK 理事・事務局長

18:00～19:00

#### 交流のためのワークショップ

山梨県ボランティア・NPO センター開館 45 周年に因み～感謝と未来への集い～と題し、会場参加者のみによる交流会を行います。（Zoom での参加はできません。）

参加費 1,000 円、資料・お土産等経費となります。

#### (1) オープニング

山梨県ボランティア協会 45 周年・5 ケ年の歩み～動画による振り返り～

#### (2) 感謝と未来への集い

○永年にわたり山梨県ボランティア・NPO センター運営を支えている「いつか会」グループに感謝の意を表します。

○参加した皆様(各人)より未来へのメッセージを発信して頂きます。

メッセージの発信内容・方法等は、当日受付にてご案内致します。

タイムカプセル的なイメージです。楽しみにご参加下さい。

○参加者のふれあい交流を図ります。

“うたって・おどって・遊んじゃおう”・・・(^\_^)

#### 司会進行

(特非) 山梨県ボランティア協会 スタッフ

9：15～11：15

## テーマ別セッション③④

セッション③ 若者・学生

**ボランティアが生み出す社会的効果と影響****～我々未来社会の構成員に託された役割と使命について考える～**

大人によってあらかじめ仕組み化されたり、用意された取組ではなく、学生ボランティアがやりたい事に主体的に取り組む、社会へ発信するには、どんなことが必要なのでしょう。このセッションでは学生ボランティアと推進団体からの話題提供をもとに、参加者からの意見も交え、学生ボランティアが思いを大事にした取組をどう育てるのか、社会へ想いを届けるために推進団体が何を大事にするのか、どんなことができるのかを考えていきます。

**話題提供者****大学生ボランティアサークル**

梅田 海咲 さん 山梨ボランティアサークル甲斐縁隊 代表  
 菅野 れな さん 山梨ボランティアサークル甲斐縁隊 副代表  
 川添 花音 さん (特非) チャリティーサンタ甲府支部 代表  
 福本 彩心 さん (特非) チャリティーサンタ甲府支部 副代表

**高校生ボランティアサークル**

佐瀬 未帆 さん 高校生ボランティア団体 FLAP 代表  
 鈴木 文 さん 高校生ボランティア団体 FLAP 副代表  
 丸山 喜一郎さん 高校生ボランティア団体 LINK 代表  
 望月 虹葉 さん 高校生ボランティア団体 LINK 副代表

**ファシリテーター**

大野 寛 さん (認定特非) 茨城 NPO センター・コモンズ 常務理事・事務局長

セッション④ 子ども・子育て

**プレ・パークや地域の取組みから学ぶ 市民主体でつくる子どもの未来****～子どもを取り巻く課題解決に市民はどう関わっていけばよいのか～**

子ども家庭庁が創設され、少子化への異次元の政策を実行するという政府に子どもの未来を任せられるのか？東京世田谷の羽根木公園でプレパーク活動を始め、継続させるために乗り越えてきたハードルはどのようなことなのか？

法律や制度、過去の常識にとらわれず、本当に必要なことを実現するために市民のすべきことは何か？羽根木プレパーク荒川区で地域の多様な市民や行政が連携している「あらかわ子ども応援ネットワーク」、居場所作りの取組みから、子どもの育みを支える地域づくりを目指すために市民が果たすべき役割を考えていきたいと思えます。

**事例提供者**

天野 秀昭 さん (特非) 園庭・園外での野育を推進する会 理事長  
 大村 みさ子 さん あらかわ子ども応援ネットワーク 代表  
 (一社) 子ども村ホッとステーション 代表

**ファシリテーター**

枝見 太朗 さん (一財) 富士福祉事業団 理事長

11:30~12:30

クロージング全体会

## 平和と公共を築く市民活動～どう進めるか？何が大切か？～ 「市民活動を支える中間支援のあり方を問う」

民ボラ等を通しての気づきや学びについて確認するとともに、これからの市民活動を推進するために大切なことは何かについて考えます。

- ① 各セッション報告
- ② 民ボラを通しての気づきから  
これからの市民活動を推進するために大切なことは何か
- ③ 中間支援への期待を一言

### コーディネーター

渡辺 裕一 さん 山梨県ボランティア・NPO センター運営委員会委員長、武蔵野大学教授

12:30~12:45

閉会・主催者挨拶（12:45終了）

### 会場案内

やまなし地域づくり交流センター <https://yamanashi-cc.jp>

山梨県甲府市丸の内二丁目35-1 JR中央本線・身延線 甲府駅南口から徒歩15分

### 問合せ先

■お問合せ：山梨県ボランティア・NPO センター（土屋・駒井・田辺）

E-mail：yvnc@yva.jp TEL055-224-2941・FAX055-232-4087